

Cinema Bravo!

映画祭プログラム発表!

もうすぐ映画祭号

Cinema Bravo!(シネマ・ブラボー)は
TAMA 映画フォーラムのキンキンな会報です

愛川欽也氏(キンキン)がやってくる!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

今年度の第 17 回映画祭 TAMA CINEMA FIORUM には、なんとキンキンの愛称でおなじみの愛川欽也氏がやってきます!
キンキンが監督した映画 2 作品の上映と、キンキンのトークショーが行われます。みなさん、ぜひ入らせて下さい。

～ キンキン映画塾 日時:11 月 17 日(土) 会場:ペルプホール ～

上映作品

『さよならモロッコ』(1974 年作品/監督主演:愛川欽也)

ボガートの『カサブランカ』に憧れてフィルムの世界に飛び込んだ CM ディレクターの岡田正夫。旅先のモロッコで、仕事と愛に疲れ、パリから死に場所を求めてやって来た女優の卵、マリー・テレーゼとめぐり逢う。二人は次第に惹かれあうようになる。岡田はマリーへの強い愛から一度は全てを投げ出して、この地に住もうとまで決心する。しかし、岡田の強い愛もマリーの心の傷をいやすことはできず、岡田はあえて彼女にパリへ帰ることをすすめる。空港でマリーを見送る岡田の姿は『カサブランカ』のラストシーンを想い起こさせるものだった。

『黄昏れて初恋』(2007 年作品/監督主演:愛川欽也)

大学の事務局長をつとめる相田省三は定年間近。省三には 15 年前に結婚した妻の美与子と、その連れ子だった娘の美美がいる。ある日、突然の病気で妻の美与子が亡くなった。「お父さんは本当に女に惚れたことがあるの。お父さんの人生はもうそう長くはないのよ。」娘の言葉に省三は初めて女性というものの存在を意識し始めるようになる。新宿にある結婚相談所に通うようになった省三は、そこで三崎弘子と名乗る女にめぐり会う。省三の人生はすっかり変わってゆくように見えたのであったが……。

愛川欽也氏(キンキン)プロフィール

昭和9年東京都生まれ。浦和高校から俳優座養成所に入所。劇団三期会を経て現在に至る。テレビの創世記には声優として活躍。昭和 50 年代には伝説的ラジオ番組『バックインミュージック』でDJとして爆発的な人気を得る。その後TVにおいても『なるほど・ザ・ワールド』等数々の番組で司会ぶりを発揮し「お茶の間の顔」ともいえる存在となった。また、DJ、司会、俳優業のみならず作家、映画監督としても活動。マルチタレントの草分け的存在といえる。

さらに同日同会場では、TGF おなじみのブラボー映画祭が開催されます。こちらもお楽しみに。
ブラボー映画グランプリ Ver2.0 —B 級、C 級はもう古い!? 笑える映画 GP 開幕! —

チケットは 11 月 1 日(木)発売開始予定です!

発売場所:チケットぴあ、ローソンチケット、チケットパルテノン、啓文堂書店(多摩センター店)、くまざわ書店(永山店)、ときわ書房(聖蹟桜ヶ丘店)、多摩市立永山公民館(ペルプ永山)、多摩市立関戸公民館(ヴィータコミュニネ)
入場料金:前売り 1,200 円 当日 1,400 円

映画祭プログラム一覧

今年の映画祭で上映される作品です

上映作品は予定であり、予告なく上映作品・日程・会場などが変更になることがあります。最新情報はホームページでご確認下さい。

日程	やまばとホール	パルテノン多摩 大ホール	パルテノン多摩 小ホール	ベルブホール	ヴィータホール
11月17(土)	山田洋次監督 藤沢周平時代劇3部作 『たそがれ清兵衛』 『隠し剣鬼の爪』 『武士の一分』	T	映画でつながる 人と町 『東京マーブル チョコレート』 『檸檬のころ』 『天然コケッコー』	キンキン映画塾 『さよならモロッコ』 『黄昏れて初恋』 ブラボー映画 グランプリVer2.0	THE FROGMANSHOW in TAMA 『THE FROGMAN SHOW 秘密結社鷹の爪』 『劇場版 秘密結社 鷹の爪 THE MOVIE』 『菅井君と家族石』
11月18(日)	ロマンティック・ ラブストーリー 『ホリデイ』 『プロヴァンスの 贈りもの』 『ドリーム ガールズ』	A	アニメの未来を切り 開く STUDIO 4℃ 『マインド・ゲーム』 『鉄コン 筋クリート』 『Genius Party』	音楽ドキュメンタリー 『ブロック・ パーティ』 『スクリーミング・ マスターピース』 『悪魔とダニエル・ ジョンストン』	TAMA NEW WAVE コンペティション ノミネート5作品 一挙上映 & グランプリ発表!!
11月20(火)	80年代の日本映画 —Vol.1— 『転校生』 (1982年版) 『遠雷』	M	N	TAMA NEW WAVE ある視点 —映画は 社会を映す鏡—	A
11月21(水)	80年代の日本映画 —Vol.2— 『夢千代日記』 『花いちもんめ』	A	E	TAMA NEW WAVE ある視点 —エンタテイン メントを極める—	F
11月22(木)	熱き女の戦い 『クイン』 『あるスキャン ダルの覚え書き』 『プラダを着た 悪魔』	C	M	TAMA NEW WAVE ある視点 —ドキュメン タリー特集—	O
11月23(金)	日本のコメディアン 『憑神』 『舞妓 Haaaaan!!!』 『しゃべれども しゃべれども』	I	映画は原作を 超えられるか 『サイドカーに犬』 『腑抜けども、 悲しみの 愛を見せる』 『アヒルと鴉の コインロッカー』	環境映画特集 『ダーウィン の悪夢』 『不都合な真実』	R
11月24(土)	世界の映画祭を 席捲した話題作 『殞の森』 『バベル』 『ボルベール <帰郷>』	アクション&サバイバル 『パイレーツ・オブ・ カリビアン ワールド・エンド』 『トランスフォーマー』 『ダイ・ハード4.0』 『ロッキー・ ザ・ファイナル』	大林宣彦監督特集 『なごり雪』 『22才の別れ Lycoris 一葉見ず 花見ず物語』 『転校生 さよならあなた』	生命の尊厳を考える 『TOKKO —特攻—』 『パラダイス・ ナウ』	U
11月25(日)	親愛なる人へ 『パッチギ!』 『LOVE & PEACE』 『東京タワー オカンとボクと、 時々、オトン』 『フラガール』	ファミリー・デー 『ポケットモンスター』 『クレヨンしんちゃん』 『西遊記』 『レミーの おいしいレストラン』	Life of Cinema ~そして世界は美しい~ 『ユメ十夜』 『世界は ときどき美しい』 『それでも生きる 子供たちへ』	ここが変だよ、 ニッポン! 『それでもボク はやってない』 『選挙』	M

映画祭オススメ企画ピックアップ

ここでは TAMA 映画フォーラムスタッフのブラボーな映画祭のピックアップ企画を紹介します。

やまばとホールのオススメは…

今年で17回を迎える映画祭も開催まで約1ヶ月となってきました。

そこでメイン会場であるやまばとホールで上映される作品を紹介していきたいと思います。

24日の“映画祭を震撼させた話題作”ではまさに今年の洋画(ドラマ系)の話題を総ざらいした感のある『バベル』と『ボルベール<帰郷>』が登場します。まさに今年の洋画を代表する2作品だけに、映画を見る暇が無かった洋画ファンにおすすめです。

続いて、邦画の話題作の3本立て『憑神』『舞妓Haaaan!!!』『しゃべれどもしゃべれども』『日本のコメディアン』とうたっていますが、若手人気俳優揃い踏みでファンにはたまらない企画です。

他に“女の戦い”として『クイーン』(ロングランしました)、恋愛特集として『ホリデイ』や『プロウ`アンスの贈りもの』(個人的にイチオシ)などこれは肩の凝らない女性向け企画です。

また、山田洋次監督の“時代劇三部作一挙上映”の日もあります。山田洋次監督のファンにはたまらない一日になりそうです。

今年も様々な作品が集まった映画祭、秋の一日ぜひ遊びに来てほしいとスタッフ一同願っております。(舟)

大林宣彦監督特集

今年度の映画祭では大林宣彦監督の特集上映を行います。

作品は大分を舞台にした『なごり雪』『22才の別れ Lycoris 葉見ず花見ず物語』と長野を舞台にした『転校生-さよならあなた-』の3作品です。11月23日(祝)にパルテノン小ホールで上映いたします。また、同日は大林監督にもゲストとしてご来場頂く予定です。

さらに、11月20日(火)に'80年代の日本映画企画内で尾道版『転校生』(1982年度版)も上映いたします。こちらはやまばとホールでの上映となります。

尾道版『転校生』と長野版『転校生』どちらも同じ原作ですが、見終わったあとの印象はかなり異なるものとなるかもしれません。

ぜひ、20日と23日の両日ともにご来場頂ければと願います。(よ)

アニメの未来を切り開く STUDIO 4°C

アニメ制作会社といえば、大概の人は「スタジオジブリ」と答えるだろう。STUDIO4°Cは近年、斬新な映像作品を創り出しているアニメ制作会社である。日本国内での知名度はまだ高いとはいえないが、海外では多大な支持を得ており、次世代ジャパアニメーションを担うアニメ制作会社として注目されている。この度、第17回映画祭 TAMA 映画フォーラムでは、STUDIO4°Cの特集をすることに決定！ 近年の代表作である三作品を取り上げ、上映する。

さて、その三作品は湯浅政明監督作『マインド・ゲーム』、マイケル・アリアス監督作『鉄コン筋クリート』そして STUDIO4°Cのメインスタッフが創り出したオムニバス・ムービーの『Genius Party』である。ゲストには、『マインド・ゲーム』で長編初監督デビューを果たし、『Genius Party』の一つのオムニバスを担当した湯浅政明氏と、同じオムニバスを担当した渡辺信一郎氏をお呼びする予定で、アニメーターとしての苦労話や、作品の裏話など語って頂き、とても充実した特集となっている。(賢)

映画でつながる人と町

17日(土)パルテノン多摩 小ホールでは、次代の日本映画を担う若き才能が集結し誕生した2本の青春映画『檸檬のころ』『天然コケッコー』を上映致します。

新鋭・岩田ユキ監督の『檸檬のころ』は豊島ミホの小説を原作に、地方の高校生たちの卒業までの時間を描いた作品。榮倉奈々、谷村美月の注目の若手女優がW主演。谷村美月が圧倒的な存在感で躍動する姿は必見！是非スクリーンでご覧下さい。映画初出演の林直次郎が手掛けた劇中歌・主題歌にも注目です。

気鋭・山下敦弘監督の『天然コケッコー』は、くらもちふさこの人気コミックを人気若手女優・夏帆主演で映画化。初めてできた同級生、初恋…田舎に住む少女の日常と成長を描いた優しく心温まる作品です！

そして、この日は特別先行プレビューとして、Production I.G × BMG JAPAN 20周年企画・オリジナル・アニメーション『東京マーブルチョコレート』も上映致します！ SEAMO の「マタアイマショウ」やスキマスイッチの「全力少年」のヒット曲に載せて描かれたピュア・ラブストーリー。

たくさんのお愛情が詰まったきらめく3本の映画をご家族でどうぞお楽しみ下さい！(北)

TAMA NEW WAVE 情報

第8回 TAMA NEW WAVE コンペティションノミネート作品決定！

応募作品 84 作品の中から 1 次、2 次審査を経て以下の 5 作品に決定いたしました。

- ・『キッス占い』（監督：酒井健宏）
- ・『ひかりのくに』（監督：児玉和土）
- ・『反逆次郎の恋』（監督：石井裕也）
- ・『バカバカンス』（監督：宮田宗吉）
- ・『かざあな』（監督：内田伸輝）

一般審査員、TCF 実行委員の投票でグランプリが決定します。

TAMA NEW WAVE 一般審査員を募集します！

未来の才能に触れてみたい方はぜひご参加下さい

- ・募集人数：50 名
 - ・審査日：2007 年 11 月 18 日（日）午前 11 時～午後 9 時（予定）
 - ・会場：ヴィータホール（多摩市立関戸公民館）京王線 聖蹟桜ヶ丘駅から徒歩 2 分
 - ・特典：入場料無料、映画祭パンフレット進呈
- なお、交通費・食費などは自己負担となります。また、全ての作品をご覧になっていただく必要があります。
詳細はホームページをご覧ください。

たまシネマ隊に参加してみませんか

「一年間を通じて参加するのは難しいけど、映画祭の期間だけでも参加してみたい」

そんな方はぜひ「たまシネマ隊」に参加してみてください。

シネマ隊の説明会は次回は 11 月 4 日（日）に行います。

ご興味ある方はホームページよりお申し込み頂くか、事務局へお問い合わせください。

支援会員制度のお願い

「実行委員やシネマ隊として参加するのは難しいけど、TAMA 映画フォーラムを応援したい」

そんな方はぜひ「支援会員」としての応援をお願い致します。

支援金寄付 個人会員：一口 1000 円 法人（団体）会員：一口 5000 円

ご協力いただいた方は、インターネットのホームページなどでお名前を掲示します。

ただし掲示を希望されない方は、その旨を郵便振替用紙通信などでお知らせ下さい。

郵便振替番号 00160-5-541123

加入者名 TAMA 映画フォーラム実行委員会

（ご不明な点はお問い合わせ下さい）

編集後記

愛川欽也氏といえば、個人的には傑作『トラック野郎』シリーズを思い出してしまいます。

さて、映画祭まではあと 1 か月余りとなりました。これからもいろいろと作業が待っていますが、実行委員+たまシネマ隊で活動していると、結構楽しくできてしまったりします。それでは、次号（「映画祭だよ、全員集合！」号）をご期待下さい。

編集スタッフ：吉野治、尾口領、松田光平、舟口聡

ライター：竹内正也、加藤賢治、北島祥子

発行：TAMA 映画フォーラム実行委員会

〒206-0025 東京都多摩市永山 1-5（ベルブ永山）多摩市立永山公民館内

TAMA 映画フォーラム実行委員会

TEL 080-5450-7204（直通）、042-337-6661、FAX 042-337-6003

<http://www.tamaeiga.org/> <mailto:info@tamaeiga.org>

